

# 百々よみとりおけいこ⑩ (低) ねん くみ 名まえ ( )

今日は日ノ岡峠ひのおかとうげのはなしです。ここは「なんしょ」でした。あわたぐちと山しなをむすぶのが日ノ岡峠です。もともとは日ノ岡は日向大神宮ひむかいだいじんぐうのある山でした。向日神社じんじゃというところからみて冬至の日にあさ日がのぼるので「日」の岡という名まえがつきました。(ちなみに夏至のあさ日はうじのあさ日山からのぼりました。)

日ノ岡峠はさかみちを上り下りする人がへとへとにつかれるところでした。さかがきつくて、みんながのめるいど水もありませんでした。

そこで、江戸時代に、木食正禪養もくじきじょうやう阿上人あじょうにんというえらいおぼうさんが、たかいところの土をひくいところにはこぶこうじをしたり「かめの水」というきゅうけい所をつくつたりしました。むかしあつた処刑場しょけいじょうでこころされた人のためにいしのとうをつくることもしました。

うしがにぐるまをひいてものをはこぶというのが江戸時代でした。かるいものはぜんぶ人がはこんだのです。

明治時代めいじじだい、馬車ばしゃがつかわれるようになると、じこがよくおきました。そこで、明治八年(一八七五)に、こうじが行わたのです。このときは、もとのたかさよりも約三・四四メートル下しきにみちをつけて、約六キロメートルにわたってマカダム式しきのほそこうじをしたのです。アスファルトではなく小石と砂すなをつきかためるというやり方でした。このやりかたは馬のあしにもやさしく、馬車のクッションにもなるという、そのとき一ばんあたらしい方法でした。

日ノ岡えびすだに町には今も、そのことをしめす石ひがひつそりとたち、くろうをしのばせています。

おんどくサイン→

①なんのはなしでしよう?

( ) 日ノ岡峠 ( ) とうかいどう  
( ) あわたぐち ( ) 山しな

②とおるのになんきするばしょをなんといいますか? ( ) なんぎしょ ( ) なんしょ

③日ノ岡はどこからみたあさ日のおかですか? ( )

④日ノ岡とセットで名づけられたのはどい?  
うじの ( )

⑤日ノ岡峠ではなぜみんながつかれたのですか? わけをふたつかきましょう。

⑥えらいおぼうさんがつくったきゅうけい所の名まえはなんですか?  
( )

⑦明治時代にこの道をおおしたときのことをかいた石ひはどこにたつていますか?

日ノ岡 ( ) 町

⑧あつているものに○をつけましよう。  
日ノ岡峠だ。

( ) 日ノ岡峠はむかしはもつときつかつた。

( ) 明治時代に牛車がつかわれはじめた。

⑨おもつたことを五行でまとめましょう。

できばえは?



今日は日ノ岡峠の話です。ここは東海道の難所でした。

粟田口と山科を結ぶのが日ノ岡峠です。もともとは日ノ岡は日向大神宮のある聖なる山でした。向日市にあ

る、向日神社から見て冬至の日に朝日がのぼるので「日」の岡という名前がつきました。（ちなみに夏至の朝日は宇治の朝日山からのぼりました。たぶん、弥生時代の向日丘陵にはたくさん的人が住んでいたことでしょう。）

話をもどしましよう。日ノ岡峠は坂道を上り下りする人がへとへとになる場所でした。坂が急で、みんなが飲める井戸水もありませんでした。

そこで、江戸時代に、木食正禪養阿上人というえらいおぼうさんが、高いところの土を低いところに運ぶ工事をしたり、「亀の水」というきゅうけい所を作つたりしました。むかしあつた処刑場で殺された人の靈を弔う碑

をつくることもしました。

牛が荷車をひいて物を運ぶというのが江戸時代でした。軽い物は全部人が運んだのです。

明治時代、馬車が使われるようになると、事故が多発しました。そこで、明治八年（一八七五）に、本格的な改修工事が行われたのです。この時は、もとの高さよりも約三・四四メートル下に道をつけて、約六キロメートルにわたつてマカダム式の舗装工事をしたのです。アスファルトではなく小石と砂をつき固めるというやり方でした。この方法は馬のあしにもやさしく、馬車のクッショ

ンにもなるという、当時最新式の方法でした。

日ノ岡夷谷町には今も、そのことを示す「修路碑」

がひつそりとたち、当時の苦労をしのばせてています。

音読サイン→

①何の話でしよう？

（ ）

②通るのに難儀する場所を何と言いますか？

（ ）

③日ノ岡はどこから見た朝日の岡ですか？

（ ）

④日ノ岡とセットで名づけられたのはどこ？

（ ）

⑤向日丘陵あたりに人々が住みついたのはいつごろでしよう？

（ ）

⑥日ノ岡峠ではなぜみんながつかれたのですか？

（ ）

⑦えらいおぼうさんが作ったきゅうけい所の名前はなんですか？

（ ）

⑧明治時代にこの道を修理したときのことを書いた石碑はどこにたっていますか？

（ ）

⑨あつているものに○をつけましょう。

（ ）明治時代にアスファルト舗装されたのが

日ノ岡峠だ。

（ ）日ノ岡峠はむかしはもつと急だった。

（ ）明治時代に牛車がつかわれはじめた。

⑩上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？



# 百々読み取りおけいこ⑩ (高) 年 組

## 名前 ( )

今日は日ノ岡峠の話です。ここは東海道の難所でした。

粟田口あわたぐちと山科を結ぶのが日ノ岡峠です。もともとは日ノ

岡は日向大神宮のある聖なる山でした。向日市にある、

向日神社から見て冬至とうじの日に朝日がのぼるので「日」の

岡という名前がつきました。(ちなみに夏至げしの朝日は宇治

の朝日山からのぼりました。たぶん、弥生時代の向日丘むこうきゅう

陵りょうにはたくさん的人が住んでいたことでしょう。)

話をもどしましよう。日ノ岡峠は坂道を上り下りする

人がへとへとになる場所でした。坂が急で、みんなが飲める井戸水もありませんでした。

そこで、江戸時代に、木食正禪もくじきしよう養阿上人ようあじょうにんというえらい

おぼうさんが、高いところの土を低いところに運ぶ工事を

をしたり、「亀の水」（きのみず）というきゅうけい所を作つたりしました。むかしあつた処刑場しょけいじょうで殺された人の靈れいを弔とむらう碑ひ

をつくることもしました。

牛が荷車をひいて物を運ぶというのが江戸時代でした。軽い物は全部人が運んだのです。

明治時代、交通手段に馬車が使われるようになると、事故が多発しました。そこで、明治八年（一八七五）に、

本格的な改修工事が行われたのです。この時は、もとの

高さよりも約三・四四メートル下に道をつけて、約六キ

ロメートルにわたつてマカダム式の舗装工事をしたので

す。アスファルトではなく小石と砂をつき固めるというやり方でした。この方法は馬のあしにもやさしく、馬車

のクツシヨンにもなるという、当時最新式の方法でした。

日ノ岡夷谷町には今も、そのことを示す「修路碑しゆろひ

」がひつそりとたち、当時の苦労をしのばせてています。

音読サイン→

①何の話でしよう? ( )

②通るのに難儀する場所を何と言いますか? ( )

③日ノ岡はどこから見た朝日の岡ですか? ( )

④日ノ岡とセットで名づけられたのはどこ? ( )

⑤向日丘陵あたりに人々が住み着いたのはいつごろでしよう? ( )

⑥日ノ岡峠ではなぜみんなが疲れたのですか? ( )

⑦えらいおぼうさんが作ったきゅうけい所の名前はなんですか? ( )

⑧明治時代にこの道を修理したときのことを書いた石碑はどこにたっていますか? ( )

⑨あつているものに○をつけましょう。 ( )

（ ）明治時代にアスファルト舗装されたのが

日ノ岡峠だ。 ( )

（ ）日ノ岡峠は昔はもつと急だった。 ( )

（ ）明治時代に牛車がつかわれはじめた。 ( )

⑩上の話の感想を五行でまとめましょう。 ( )

できばえは?

